

## ◎ 「人権教育指導の手引」(平成16年3月策定)－改訂の経緯－

～ 人権教育に取り組む教職員・社会教育リーダー 等のための手引書 ～

### ○ 国際的な動向

- ・ 「人権教育のための世界計画」(2004年～)が定められ、第1フェーズは初等中等教育に焦点をあてることとするなど、人権教育についての国際的な取組が進められている。

### ○ 国内の動向

- ・ 平成12年(2000年)に、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」が公布され、国や地方公共団体の責務が明示されるとともに、平成14年(2002年)に「人権教育・啓発に関する基本計画」が閣議決定された。

### ○ 文部科学省

- ・ 学校教育における人権教育推進のために、平成15年(2003年)に「人権教育・啓発に関する基本計画」に基づく調査研究組織として「人権教育の指導方法等に関する調査研究会議」を設置し、第一次から第三次にわたる[とりまとめ]を公表した。現在、各校において[第三次とりまとめ]の活用が図られている。

### ○ 長野県

- ・ 平成22年(2010年)2月に、「長野県人権政策審議会答申」(平成21年)を受け、県が進める人権政策の基本的な考え方や方向性を示す「長野県人権政策推進基本方針」を策定した。

※ 長野県教育委員会では、「人権教育・啓発に関する基本計画」、「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」及び「長野県人権政策推進基本方針」の基本的方向を踏まえ、「人権教育指導の手引」を改訂し、「人権教育推進プラン」とした。

## 人権教育推進プラン「人権教育指導の手引改訂版」の基本的な考え方

### ◎ 策定にあたっての3つの柱

- 長野県で長く取り組まれてきた同和教育の理念・成果を活かすこと
- 「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」の活用が図られること
- 「長野県人権政策推進基本方針」を踏まえた人権教育の推進が図られること

### ◎ 人権教育の基本方針

- 人権尊重の意義及び様々な人権問題についての **理解と認識** を深める
- 自らの権利の行使に伴う責任を自覚して、互いに人権を尊重し合う **共に生きる心** を醸成する
- 人権問題を自らの課題として解決し、人権を尊重する社会を築いていく **意欲と実践力** を高める

#### 理解と認識

- ・ 自他の人権を尊重し、人権問題を解決する上で役立つ知識を身につけることが大切

#### 共に生きる心

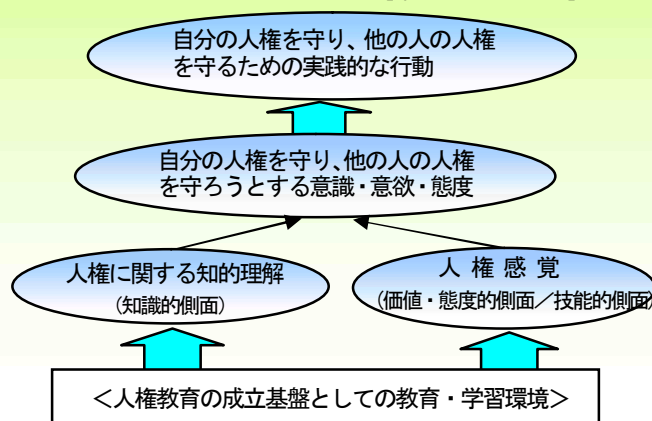
- ・ 「共に生きる心」とは「自分の大切さとともに、「他の人の大切さを認めること」であり、互いに人権感覚を高め合う中で育つ

#### 意欲と実践力

- ・ 人権感覚が知的理解・認識とも結び付いて、問題状況を変えようとする人権意識又は意欲や態度となり、自他の人権を守るための実践的行動につながる

#### 【人権教育を通じて育てたい資質・能力】

([第三次とりまとめ]より)



## ◎ 様々な場での人権教育の推進

### ○ 幼稚園・保育所における取組

- ・ 一人ひとりを尊重した個別指導の充実を図る
- ・ 体験を通して友だちとの関わりを深め、命の大切さを感じ取らせる

### ○ 学校における取組

- ・ すべての教育活動を通して推進する
- ・ 命の大切さを感じ取らせる
- ・ コミュニケーション能力を育てる
- ・ 主体的に学び、生活に生かす
- ・ 自尊感情を高める
- ・ 一人ひとりがつながる集団づくり

### ○ 家庭における取組

- ・ 互いに尊重し合う家庭づくり
- ・ 互いの思いを言葉で伝え合う

### ○ 地域社会における取組

- ・ 身近な生活の中にある問題に気づく
- ・ 人権リーダーの育成と資質の向上を図る
- ・ 自分の問題として捉え行動につなげる

### ○ 企業・職場における取組

- ・ 人権が尊重される職場づくり
- ・ 社会への貢献

## <学校教育編>

■ 人権教育は、全ての教育の基本という理念に立ち、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動などの特質に応じて、教育活動全体を通じて計画的に推進

### 【学校教育編の内容】

- 1 教育活動全体を通じた人権教育の推進
  - ・ 人権が尊重される学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくりを進める
- 2 人権教育を通じて育てたい力
  - ・ 知識的側面、価値的・態度的側面、技能的側面の3つの側面から捉えることができる
- 3 人権教育を推進する基盤づくり
  - ・ 隠れたカリキュラム(教育する側が意図する・しないに関わらず、学校生活を営む中で児童生徒自らが学び取っていく全ての事柄)の視点が重要
- 4 人権教育の具体的な進め方
- 5 全体計画の作成
- 6 年間指導計画の充実
- 7 人権教育の指導方法の工夫
  - ・ 協力、参加、体験を中核に置きながら、児童生徒が「感じ、考え、行動する」主体的な学習
- 8 効果的な学習教材の選定・開発
- 9 人権教育に視点を置いた学習指導案の作成
- 10 人権教育と生徒指導との連携
- 11 人権教育の充実と学力向上
  - ・ 効果のある学校(教育的に不利な環境の下にある児童生徒の学力水準を押し上げている学校)を目指す
- 12 効果的な教職員研修の工夫
- 13 学校人権教育関係資料

## <社会教育編>

■ 人権尊重に対する国際的な潮流も踏まえて、全ての人の人権を尊重し、また自らが充実した人生を営む生涯学習としての人権教育を基軸に推進

### 【社会教育編の内容】

- 1 参加者が主体的に学ぶ学習会づくりに向けて
  - ・ 受け身の学習から、自分で感じ・考え・行動する学習会への転換を目指す
- 2 気づきを行動へ移すために
  - ・ 参加体験型の学習の意味
- 3 様々な学習方法とその留意点
  - ・ 気づきを引き出す活動  
バズセッション、ロールプレイ
  - ・ みんなで考え方などを作り上げる活動  
ブレインストーミング、シミュレーション
  - ・ 自分の目で確かめて認識を深める活動  
フィールドワーク 等
- 4 人権教育学習会・研修会を開くにあたって
  - ・ 研修を企画する段階や会場設営における工夫の仕方や配慮すべき事柄
  - ・ 研修の形態を決めるまでの流れと留意点
- 5 人権学習におけるワークショップの進め方
  - ・ 基本的な学習展開とファシリテータの役割
- 6 ワークショップで進める学習の特徴と約束
  - ・ ワークショップを進める上での活動中の約束事や学習者の権利について
- 7 社会人権教育の関係資料

連携

### 『資料編』 ○ 個別の人権課題〔第三次とりまとめ〕より

○ 人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕(概要)

○ 長野県人権政策推進基本方針(概要)